

心の奥底にいるピ ンク色の助っ人

それは

色っぽくて

真面目な人からすれば

少し否定的にも捉えられるかもしれない。

狭く苦しい場所に

過ごしていた日々がある。

自分の責任ではあるので納得はしているのだが。

すぐ隣にいた彼女は

今となっても敵だったのか味方だったのか

そのどちらでもないのかの判別がつかない。

体験版は以上になります。ご読了ありがとうございます

した。